

## I. 広東省

### 1 韓正・国務院副総理が広東省を視察

●20日～22日、韓正・中央政治局常務委員兼国務院副総理が広東省で自由貿易試験区の建設と広東・香港・マカオの協力深化について視察・研究した。韓正・副総理は、まず広東省自由貿易試験区珠海横琴区、広州南沙区、深セン前海蛇口区を訪れ、自由貿易区の計画と建設の発展状況を視察・研究した。また香港・珠海・マカオ大橋を実地に視察し、その後広東・マカオ協力中医薬科学技術産業パーク、深セン・香港科学技術イノベーション特別協力エリアを視察した。更に前海Eステーション・サービスセンター、ファアウェイを視察した。前海深セン・香港青年夢工場では深セン、香港の青年起業・イノベーションチームと相互的な交流をした。胡祖才・国家発展改革委員会副秘書長、胡静林・財政部副部長、胡偉・税関総署副署長、李書玉・広東税関主任、任学鋒・広州市書記、王偉中・深セン市書記、林少春・広東省副省長、江凌・省党秘書長、李春生・広東省副省長、欧陽衛民・広東省副省長、温国輝・広州市長が関連する活動に参加した（24日付「広州日報」1面）。

### 2 広東省政府とシーメンスが全面的戦略協力枠組協定に署名

●23日午後、広東省政府とシーメンス（中国）有限公司が広州市で全面的戦略協力枠組協定に署名した。馬興瑞・省長が署名に立ち会った。ナイク・シーメンス管理委員会メンバーは、広東省の軌道交通のインフラ建設、スマートシティのモデルプロジェクトなどに積極的に参加したいと述べた（24日付「南方日報」1面）。

### 3 珠江デルタ都市の公共バスを2年後までに全部電動か

●広東省は2020年までに広東省の全公共バスの75%以上を新エネルギーバスとし、そのうち純電動バスの比率は65%以上にする。珠江デルタの都市では全ての公共バスの電動化を実現させる（24日付「南方日報」7面）。

### 4 5Gの基地局を建設

●広東省人民政府によれば、広東省は2019年に広州・深センで5Gの基地局を建設し始め、2020年には広東省全体で5G基地局を7300ヶ所にすることを目標としている（24日付「広州日報」4面）。

### 5 広東自由貿易試験区改革深化プラン2.0が公表

●24日、国務院新聞弁公室が自由貿易試験区の改革・開放を深め、その経験をコピー、普及するための発表会を開き、「中国（広東）自由貿易試験区の改革・開放を一層深めるプラン」が正式に発表された。開放型経済新体制先行区、広東・香港・マカオ・ビッグベイエ

リア協力モデル区と高水準な対外開放ゲートハブという「2区1ハブ」との新たな位置付けが打ち出され、広東・香港・マカオによる共同イノベーションが支持され、全省における改革との連動が強化された（25日付「南方日報」2面）。

#### 6 陽江市の原発5号機が送電を開始

●23日夜、中国広核グループ陽江原発5号機は送電に成功した。陽江原発5号機は2013年9月18日に建設が開始され、4年を超える年月を経て最終的にスムーズな送電に成功した（25日付「南方日報」6面）。

#### 7 今年の大学卒業者のうち80万人超の卒業生が広東省で求職

●今年卒業する大学生のうち80万人超えの学生が広東省で求職する見込みで、これは全卒業生の約10分の1にあたる（25日付「南方日報」6面）。

#### 8 李希・省党書記と馬興瑞・広東省長がメルケル・ドイツ首相と会見

●25日、メルケル首相が広東省を訪問し、李希・書記と馬興瑞・省長が会見した。メルケル首相は、今回2回目の広東省訪問であり、友好関係を深め、経済・貿易、科学技術、人文、環境保護等での交流・協力を深めたいと述べた。史明德・在ドイツ中国大使、王偉中・深セン市書記、江凌・省党秘書長も関連する活動に参加した（26日付「南方日報」1面）。

## II. 広州市

### 1 温国輝・広州市長が尤善銀・シンガポール企業発展局副局長と会見

●22日午前、温国輝・市長が尤善銀・シンガポール企業発展局副局長と会見し、温市長が中国・シンガポール広州知識城等の協力プロジェクトが実効を上げるように希望した。陳志英・常務副市長が会見に参加した（23日付「広州日報」1面）。

### 2 深セン航空が広州—プーケット間の直行便を就航

●深セン航空が6月20日から広州—プーケット間の直行便を毎日1便就航させる。また、6月1日から広州—プノンペン便も1日2便に増便される（25日付「広州日報」16面）。

## III. 深セン市

### 1 深セン空港の旅客数が前年同期比で約10%増加

●今年1～4月の深セン空港の累計旅客数は、のべ1,632.04万人で10.5%増、航空便荷物は37.33万トンで6.1%増だった。国際便（台湾を含める）の旅客数はのべ144.79万人で前年同期比26.4%増、そのうち純国際便の旅客数はのべ124.32万人で前年同期比32.4%

増だった（23日付「深セン特区報」6面）。

## 2 国務院が深セン市光明区の設立に同意

●国務院が光明区の設立に同意し、深センで9番目の行政区となった（26日付「深セン特区報」1面）。

## 3 深セン市の去年一年間の電子商取引額は2.3兆元超

●深セン市の去年一年間の電子商取引額は全国トップとなり、総額23,429.71億元で、全国の電子商取引額の8%を占めた。そのうちインターネット販売における取引額は3,100億元を超え前年比35.18%増、越境電子商取引額は500億米ドル近くに上り、前年比21.84%の増加となった（26日付「深セン特区報」3面）。

## 4 今月の深セン市の私用車ナンバープレートの平均取引成立価格は7.18万元

●2018年第5期となる深セン市のナンバープレート競売が行われた。個人の今期最低取引成立価格は58,000円で平均取引成立価格は71,845元だった。業務用ナンバープレート最低取引価格は66,000円で平均取引成立価格は76,075元だった（26日付「深セン特区報」4面）。

※広州市の先月の私用車ナンバープレートの最低落札価格は32,100元、業務用は51,000元であった。

## IV. 福建省

### 1 国務院が「中国（福建）自由貿易試験区の改革・開放を更に深めるためのプラン」を発出

●福建省自由貿易試験区は、政府のガバナンスの水準を更に引き上げ、兩岸の経済協力を深め、21世紀海のシルクロード・コアエリアの建設を速めることなどをめぐって、ハイレベルで国際化されたビジネス環境を作り上げる、政府サービスの規準化・透明化を推進する、福建・台湾の金融協力を強化するなどの21分野における具体的措置を打ち出した（25日付「福建日報」1面）。

## V. 海南省

### 1 劉賜貴・省党書記がベトナム大使と会見

●21日午後、劉賜貴・省党書記が鄧明魅・ベトナム大使と会見し、海南省とベトナムの協力について突っ込んだ意見交換を行い、相互訪問、人文交流、産業協力、空中・海上での相互連絡・直行便などを増やすといった面で共通認識に達した（22日付「海南日報」1面）。

## 2 海南省が中国銀行と業務会談を行った

●21 日午前、海南省と中国銀行が業務会談を行い、その前に劉賜貴・書記が陳四清・中国銀行会長と会見した。沈曉貴・省長も会談に参加した。劉賜貴・書記は、海南省は「海南省百万人人材招聘」行動計画、百日企業大誘致プロジェクトなど次々とスタートさせており、中国銀行が歴史的チャンスを掴んで積極的に海南自由貿易区（港）建設に参加し、その中から発展商機を見つけ、更に多くの国内外の企業に金融サービスを提供して欲しいと述べた。陳四清・会長はチャンスを掴んで、海南自由貿易区（港）建設に参加し、高品質な金融サービスを提供し、海南経済の質の高い発展に助力したいと述べた（22 日付「海南日報」1 面）。

## 3 沈曉明・海南省長が一汽グループ会長と会見

●21 日午後、沈曉明・省長が徐留平・一汽グループ会長と会見し、新エネルギー自動車やスマート自動車等での協力について話し合った（22 日付「海南日報」2 面）。

## 4 海南省医療健康人材養成イノベーション連盟が設立

●省教育庁、省衛生計画成育委員会の指導のもと、海南省医療健康人材養成イノベーション連盟（中国医学模擬教学連盟海南支部）が設立され、海口市で設立大会が行われた。大会には 14 の上海の医療衛生機関、10 の国内医学模擬教学重点企業等 60 近い機関・団体が参加し、連盟設立協定に署名した（22 日付「海南日報」5 面）。